



TKK 共通シラバス

1. 科目名	開発教育学			3. 担当大学	神戸学院大学	
2. 教員名	前林 清和		5. 開講時期	後期	6. 単位数	2 単位
4. 対象学年	2 年生以上					

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

開発教育とは、開発に関する様々な問題を理解し、人々が共に生きることができるような公正な国際社会作りに参加することを目的とした教育活動である。したがって、単に知識として開発途上国の問題を理解するのではなく、共感をもてるような、またその解決策を自分自身の問題として捉えられるような能力と態度が求められる。

したがって、この授業では学生参加型の授業を前提とし、各自あるいはグループが学んだ知識をもとに与えられた課題に対して取り組んで頂く。

1 回目から 10 回目は、遠隔授業で行うため、講義や映像などを駆使した知識の習得と各人ごとの作業が中心になる。11 回目から 15 回目までは、集中でスクーリング形式で行うので、グループでのワークショップが中心になる。主なテーマは、世界の貧困問題、紛争問題、人口問題、教育問題、保健衛生問題、環境問題などである。また、開発教育を実施するためのファシリテーターとしての基礎能力についても学んでいくことになる。

8. テキスト、参考書、指定図書

前林清和『開発教育実践学』昭和堂（税別 2500 円）

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

【事前受講してほしい講義等】

【事前受講してほしい講義等】

10. 提出課題など

レポート

11. 評価基準

出席 30%、レポート 20%、テスト 50%

12. 学生へのメッセージ、受講生への要望

13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）

【授業計画】

講義 No.	主題	内容
第 1 回	ガイダンス	開発教育とは 開発とは 文化とは
第 2 回	開発教育の視点	人間観、世界観、文化・文明観、市民論、人権論、公正論、未来論（第 2 章）
第 3 回	貧困と開発	世界の貧困の現状とその解決方法
第 4 回	貧困と開発Ⅱ	活動事例研究
第 5 回	紛争と開発	世界の紛争の現状とそれに対する取り組み
第 6 回	人口問題	人口問題と食糧、水、人権のバランス
第 7 回	教育と開発	開発途上国の教育問題とその支援
第 8 回	教育と開発Ⅱ	活動事例研究
第 9 回	保健衛生と開発	感染症、エイズ、人権との関連とその支援
第 10 回	環境と開発	地球温暖化、持続可能な開発、人権の限界、新エネルギー
第 11 回	開発教育の方法	ロールプレイ、フォトランゲージ、ブレインストーミングなど
第 12 回	ファシリテーターの基礎	開発教育のワークショップを実際に行うための基礎知識
第 13 回	開発教育ワークショップ	シミュレーションⅠ
第 14 回	開発教育ワークショップ	シミュレーションⅡ
第 15 回	テスト	

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。

